

2017 初秋の例会

オペラ歌手が歌う

ドラマチック・リートの午後



Kei Yasaka

(曲 目)

魔王
死と乙女

春の信仰
春に
ミューズの子

「ヴィルヘルム・マイスター
の修業時代」より

豎琴弾きの歌 I
「孤独に身を委ねる者は」

豎琴弾きの歌 II
「家々の戸口に忍んで行き」

豎琴弾きの歌 III
「涙と共にパンを
食べたことの無い者は」

全能
ドッペルゲンガー
郵便馬車

演 奏

テノール： 澤武紀行

ピアノ： 野間春美

2017年9月9日(土) pm2:00開演 (1:30開場)

会場：サローネ・フォンタナ 参加費 3000円

主催：国際フランツ・シューベルト協会 協賛：メタモル出版

オペラ歌手が歌う「ドラマチック・リート」

シューベルトが心ひそかに夢見ていたのは、オペラの作曲家になることでした。けれどもイタリアオペラ全盛時代のウィーンで、オペラとしてはなかなか上演される機会の無かったそのドラマチックな世界を、小説や戯曲や物語の中の詩に求め、歌曲の分野でいくつか見事に作品化していました。ゲーテの「ファウスト」や「ヴィルヘルム・マイスターの修行時代」スコットの物語詩「湖上の麗人」と言った物語の中からも、シューベルトは傑作歌曲を生み出しています。

一方、現在ベルリンを中心にオペラ歌手として活躍中の澤武紀行さん、15歳の少年時代に「合同音楽会」で初めて歌った独唱曲が何とドイツ語によるシューベルトの「菩提樹」「ます」だったそうです。そんなわけで、何やら因縁めいた今回のシューベルト協会の例会で澤武さんが選んだプログラムが、そういったシューベルトの「ドラマチック」な歌中心になっていることも、うなずけます。それだけに、例えば「魔王」を歌う澤武さんが、父子と魔王の三役を一体どんな風に歌い分けてみせるのか、今からとても楽しみです。

予約ご希望の方は、下記宛に電話または、FAXでお申し込みください。

〒165-0033 中野区若宮3-28-2

国際フランツ・シューベルト協会（担当・杉山）

TEL&FAX 03-3330-8378

なお、協会のホームページ (<http://schubertiade.jp>) から申し込みすることができます。

(E-mail アドレスは、member@schubertiade.jp です。)

サローネ・フォンタナ ご案内

小田急線「成城学園前」駅北口に出て、正面の大通り(桜並木)を直進、桜並木がちょっと途絶えたあたりで赤い郵便ポストが道路右に見えて来る（ここまで約10分）。ポストの手前の四つ角を右折・直進。橋を渡って、上り坂を上り切ると突き当りになる。

そこを左折してすぐ、左側二軒目の家。（全体で徒歩15分）

